

# 大館能代空港脱炭素化推進計画(概要)



## 1. 基本的な事項

### ○空港の特徴

- ・大館能代空港は秋田県北秋田市に立地し、標高84mの河岸段丘地に整備された。
- ・2022年度の空港利用状況は、着陸回数1,061回、乗降客数15万人、貨物取扱量136トンとなっている。

### ○空港脱炭素化に向けた方針

- ・ターミナルビル等の空港施設の省エネ化、航空灯火のLED化、空港車両のEV・FCV化、太陽光発電設備などの再エネ導入などに取り組む。
- ・秋田空港と連携し再エネ電力の活用を目指す。

## 2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量[t/年]	
	2013年	現状（2022年）
空港施設	871.3	650.6
空港車両	155.7	161.0
空港施設・車両計	1,027.0	811.7
(参考)		
航空機	665.1	925.0
空港アクセス	698.2	792.7

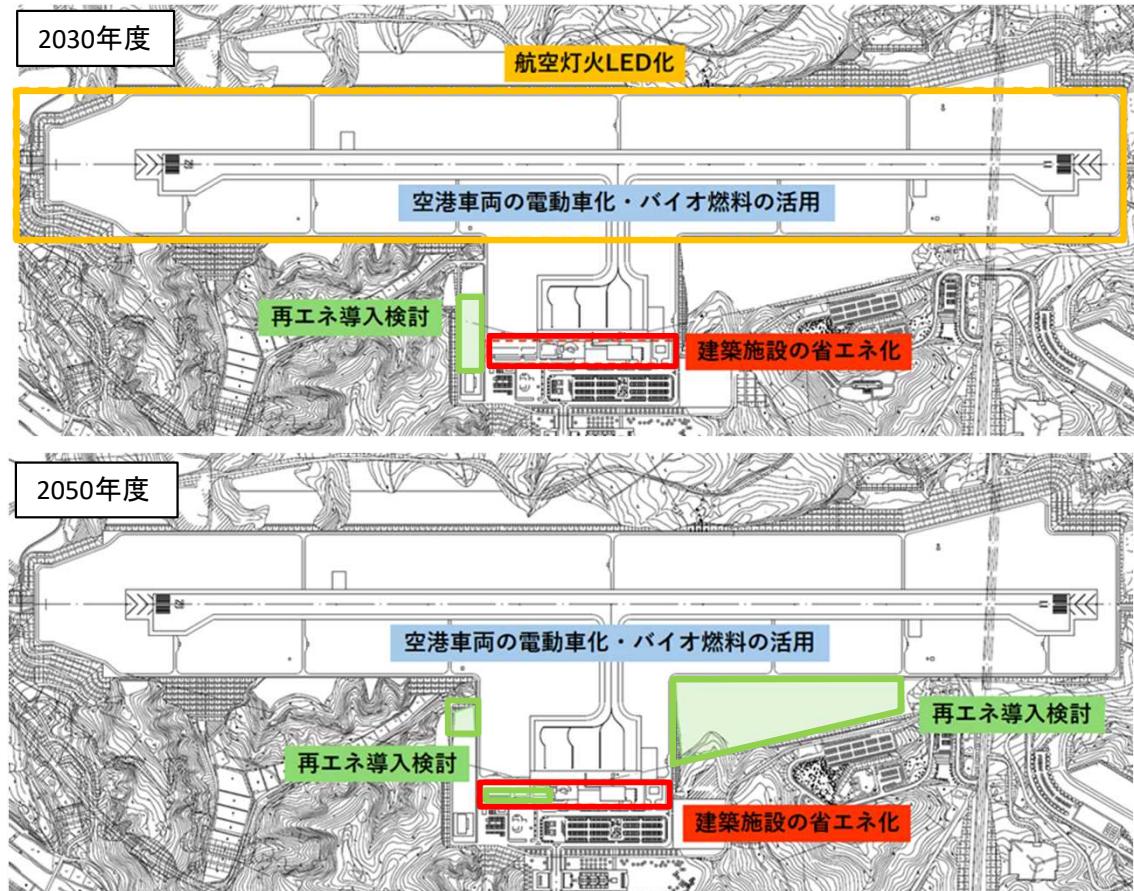
## 3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比46%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

## 4. 主な取組

2030年度：空港施設の省エネ化、航空灯火のLED化、空港車両のEV・FCV化、太陽光発電の導入等に取り組む。

2050年度：空港車両のEV・FCV化、太陽光発電や蓄電池を検討。



### その他の取組

地域連携・レジリエンス・災害時の蓄電池等の活用  
意識醸成・啓発活動等：空港関係者と連携し取組の推進や成果の確認